

目を輝かせる児童・生徒ら

奈良養護学校に自転車選手

トップ選手が技を披露



奈良

ドイツと日本の室内自転車競技のトップ選手がこのほど、奈良市七条町の県立奈良養護学校(中野善久校長)を訪れ、小・中学部、高等部の生徒81人と交流した。

昨年に続いて2回目の来校。今年から小学部の児童も加わり、サイクルサッカー選手とブレイした。

来校したのは、U-19(19歳以下)日独交流試合のために来日中のドイツ人選手14人と日本人選手10人。ドイツ人選手がサイクルサ

ッカーと、サイクルフイギユアのデモンストレーションを披露すると、迫力ある演技に児童生徒が目を輝かせた。

また、電動クルマいすサッカーの選手、相心平君(高等部3年)が世界選手権日本代表の村上裕亮選手(27)

とペアを組み、ドイツ人選手と対戦。児童生徒の有志がバスを出し、ドイツ人選手がシュートを決める実技も

行われた。初めてサッカーを体験した小学部2年の三嶋俊慶君(8)は、飛び切りの笑顔で喜びを表現した。



ドイツ人選手のサポートで競技用自転車に乗る生徒＝奈良市七条町の奈良養護学校